

團伊玖磨生誕100年記念コンサート

1. 交響曲第2番 変口調 全3楽章
(1956／改訂1988)

2. 祝典行進曲
(1959／管弦楽版1974)

3. 歌劇「夕鶴」前奏 + つうのARIA
(1951／台本：木下順二)

4. ヴァイオリンとオーケストラのための
ファンタジア第1番 (1973／管弦楽版1974)

5. 混声合唱組曲「筑後川」全曲
(1968／管弦楽版1974／作詩：丸山豊)

6. 合唱と管弦楽による「西海讃歌」
(1968／作詩：藤浦洸)



©Shunsuke Sakamaki

[出演]

指揮：齊藤一郎

読売日本交響楽団

ソプラノ：小林沙羅(夕鶴)

ヴァイオリン：小林武史(ファンタジア)

合唱：東京混声合唱団(筑後川、西海讃歌)

2024年 **5月4日**(土)

15:00開演 [14:15開場]

紀尾井ホール

[チケット](税込)

全席指定 一般 8,000円／学生 4,000円

一般発売日：2024年3月7日(木) ※詳細は裏面へ

美しい音、素晴らしい音は、

空から、絶えず僕の頭の中、

胸の中に鳴り続けた。



紀尾井ホール 〒102-0094
東京都千代田区紀尾井町6-5

[特別助成]  公益財団法人 石橋財団 [特別協賛]  三井不動産 MITSUI FUDOSAN

[主催] 團伊玖磨生誕100年記念コンサート実行委員会
実行委員：團紀彦(代表)、小林武史、西耕一、原伸夫、鎌田隆志

2024年に作曲家・團伊玖磨（1924-2001）が生誕100年を迎えます。團伊玖磨は、デビュー当初から世界に平和を届けようと音楽活動を続けました。戦後の日本作曲界を牽引した作曲家のメモリアルとして音楽界のトッププレイヤーが結集して、代表的な作品を取り上げます。

《祝典行進曲》は1959年に当時の皇太子（現・上皇陛下、上皇后陛下）御成婚を祝して作曲され、それまでの戦争賛美とは違う、戦後の平和の時代にふさわしいスキップするような行進曲を書きました。1964年東京オリンピックや1984年ロサンゼルスオリンピックなど国際的な祝典行事でも演奏機会が多い人気作です。《交響曲第2番》は1956年に作曲され、32年後に改訂した演奏時間50分に及ぶスケールの大きな傑作です。《夕鶴》は鶴の恩返しを翻案したオペラであり、国内外で900回近い上演回数を誇ります。小林沙羅による歌唱にご期待ください。《ファンタジア》は今年93歳を迎えたヴァイオリニスト小林武史のために約50年前作曲され、世界中で演奏された名曲です。《筑後川》は楽譜が20万部以上販売され、NHK全国音楽コンクールにも採用されるなど、誰もが知る人気作であり、團伊玖磨には欠かせない作品です（久留米音楽協会合唱団を記念して石橋幹一郎氏の依頼で作曲された）。《西海讃歌》は、佐世保市民のために作られましたが、広く故郷を愛して美しい心を持つという、誰にも共通するテーマで平和を祈る爽快な作品です。

指揮は日本の作曲家への熱心な取り組みを評価され、東京オリンピックの開会式・閉会式にも演奏CDが採用された齊藤一郎です。オーケストラは團伊玖磨ともゆかりの深い読売日本交響楽団、合唱は東京混声合唱団が担当します。

本演奏会は、生誕100年を迎えた作曲家を回顧するだけではありません。團伊玖磨の音楽が、戦後の日本と共にあり、時代を彩ってきたこと、そしてこれからも多くの皆様と共にあることを願って開催されます。

團伊玖磨生誕100年記念コンサート実行委員会 代表：團紀彦 プロデューサー：西耕一



團伊玖磨（だん いくま 1924-2001）

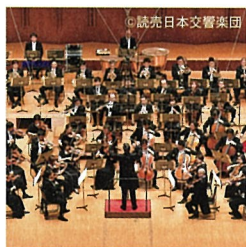
オペラ《夕鶴》や合唱曲《筑後川》をはじめ、《ぞうさん》《ラジオ体操第二》《花の街》など多くの作品が親しまれている国民的作曲家。少年期に山田耕筰に見出され作曲の道を歩む。東京音楽学校（後の東京藝大）を経て、陸軍戸山学校軍楽隊で小太鼓と編曲作業に従事。作曲家になった。七つのオペラと六つの交響曲を創作の柱とし、管弦楽では《シルクロード》、吹奏楽では《祝典行進曲》、合唱では《筑後川》などすべてのジャンルへ愛される作品を残した。作風は、《交響曲第2番》に代表されるように、大陸的で雄大な時間の流れと歌謡性、ゆるぎない構造美が持ち味である。盟友の芥川也寸志、黛敏郎と3人の会を結成して、戦後の音楽界に大きな足跡を残したほか前衛の波に揺らぐことのない確固たる創作姿勢で77年の生涯を貫いた。様々な歴史文化芸術に触れるために、旅を愛する人でもあった。27巻に及ぶ随筆集『パイプのけむり』シリーズなど著書多数。2001年5月、旅行先の中国・蘇州で急逝。

©Shunsuke Sakamaki



齊藤一郎 指揮

東京藝大指揮科卒業。指揮を伊藤栄一、遠藤雅古、岩城宏之、若杉弘、湯浅勇治、佐渡裕、デシュバイ、ハーガー、アツェルの各氏に師事。在学中に安宅賞受賞。文化庁新進芸術家海外研修員としてウィーンで研鑽を積み、NHK交響楽団アシスタントコンダクターとしてサヴァリッシュ、プロムシュテット、スヴェトラーノフの各氏に薫陶を受けた。セントラル愛知交響楽団常任指揮者を経て同首席客演指揮者。京都フィルハーモニー室内合奏団音楽監督など、国内外で活躍する。



読売日本交響楽団

1962年、読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共演を重ねている。團伊玖磨とは70年代に日本テレビの番組収録などで数多く共演した。現在、名誉顧問に高円宮妃久子殿下をお迎えし、常任指揮者ヴァイグレのもと充実した活動を展開している。サントリー音楽賞、文化庁芸術祭大賞などを受賞。演奏会の様子は日本テレビで放送されている。

<https://yomikyo.or.jp/>



小林沙羅 ソプラノ

東京藝術大学及び同大学院修了。ウィーンとローマにて研鑽を積み。ブルガリア国立歌劇場「ジャンニスキッキ」で欧州デビュー。三枝成彰「KAMIKAZE」「狂おしき真夏の一日」、野田秀樹演出「フィガロの結婚」、この他「カルメン」、「夕鶴」、「千姫」、23年井上道義「降福からの道」、佐渡裕指揮「ドン・ジョヴァンニ」など話題作に続々出演。アルバム「日本の詩（うた）」他をリリース。17年第27回出光音楽賞、第20回ホテルオーケラ賞受賞。大阪芸術大学准教授。



小林武史 ヴァイオリン

国内外で演奏活動を行い、東京交響楽団、チェコ国立ブルノ・フィルハーモニー、オーストリア・リンツ州立ブルクナー管弦楽団、読売日本交響楽団のコンサートマスターを歴任。国際交流基金派遣の文化使節としての派遣は10回に及ぶ。桐朋学園大学、東京音楽大学各講師を歴任。第18回毎日音楽コンクール第1位（1949）、日本音楽舞踊批評家クラブ賞（1960）、文化庁芸術祭賞（1988）、文化庁芸術祭大賞（1996）、横浜文化賞（2013）各受賞。



東京混声合唱団

1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。コンサートの開催を演奏活動の中心に置き、広範な分野の合唱作品の開拓と普及に取り組んでいる。東京、大阪での定期演奏会を核とし、海外公演を含む年間の活動は150回を数える。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた250曲を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品までと全合唱分野を網羅している。サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞、文化庁芸術祭大賞などを受賞。

[チケット取り扱いプレイガイド]

- キョードー東京 https://kyodotokyo.com/dan_ikuma100
電話受付 0570-550-799（平日：11時～18時/土日祝：10時～18時）
- イープラス <https://eplus.jp/dan-ikuma/>
- チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/danikuma100/>（Pコード：265-752）
- ローソンチケット https://l-tike.com/dan_ikuma100/（Lコード：33610）

■注意事項

キョードー東京 ▼



※公演中止の場合を除き、お客様の体調不良および新型コロナウイルス感染によるチケットの払い戻しは致しません。※未就学児童不可とさせていただきます。※チケットご購入の際には、ご自身の体調や環境をふまえご判断くださいますようお願いいたします。※学生チケットは専門学生・大学生（大学院生を含む）までを対象にご購入いただけます。※学生前売チケットをご購入のお客様は、当日学生証の提示をお願い致します。